

ネットワークトラフィック監視による IaaS プロビジョニング

導入事例

 さくら情報システム
SAKURA INFORMATION SYSTEMS

産業
IT サービス

製品
Progress Flowmon Collector
Progress Flowmon ADS

概要

さくら情報システムは、2012 年から IaaS 仮想化ホスティングサービスを展開してきました。共有サービスの複雑な性質に対処できる堅牢なトラフィック監視や振る舞い検知ツールが必要なことが明らかになりましたが、この問題は、ADS (Anomaly Detection System、異常検出システム) モジュールを備えた Flowmon Collector を導入することで解決されました。

Flowmon を使用することで、さくら情報システムは、継続的なネットワークトラフィックの監視と異常検出が可能になり、スムーズなホスティングサービスを続行できています。

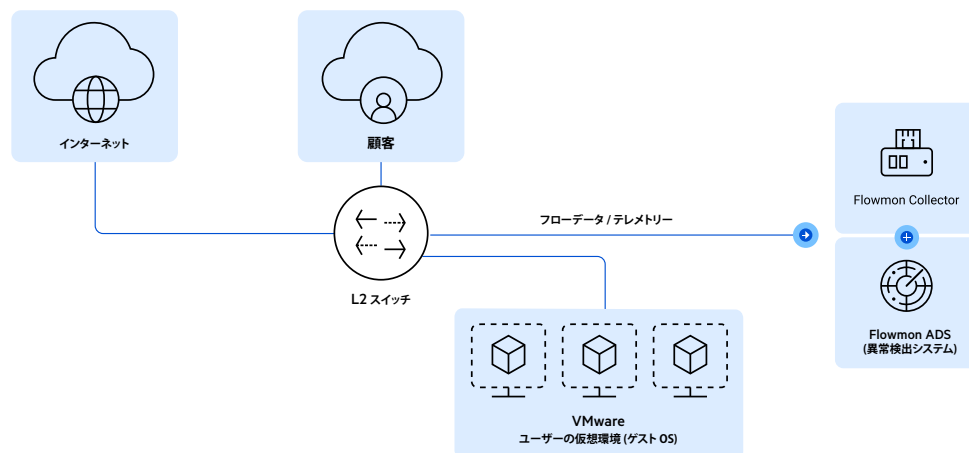
課題

さくら情報システムの IaaS 仮想化ホスティングサービスは、通信インフラごとに仮想マシンを「区画貸し」するような形をとっており、利用環境のネットワーク設計や運用方法についてサービス提供側が関与することはありません。ユーザーは、インターネット上にネットワークを配置したり、閉域ネットワークを構築したりするなど、ネットワークを自由に設計することができます。このようなサービスはユーザーにとって便利ですが、共有ネットワーク部分で問題が発生した場合、サービス提供者側からは全体像を把握することが難しいという大きな課題がありました。

さくら情報システムのプロジェクトチームリーダーの犬竹雅博氏 (ICT サービスグループ) は、「負荷がかかったり何らかの攻撃を受けたりという事態に対し、ユーザー単位での利用状況を可視化する手段がありませんでした。」と述べています。このままではサービス品質を保ち、速やかに問題を解決することが不可能になる可能性があり、ネットワーク全体で発生するイベントを視覚化できるツールの調査が行われました。

ソリューション

さくら情報システムでは SNMP 監視を使用していましたが、この従来の監視システムでは、ネットワーク機器の負荷の程度は把握できても、共有であるために、報告された問題がどのユーザーの負荷が原因なのかという点を判断する方法がありませんでした。個別にお客様から、「急に負荷が重くなった」という問い合わせが来ても、ハードウェア障害以外の原因を特定する手段がなかったので、確認できる範囲で回答するしかありませんでした。問題を効果的に解決できなければ、顧客のニーズと期待が満たされず、運用コストが上昇して、競合他社に後れをとることになり、会社の評判にも悪影響が出てしまうため、ネットワークの可視化が緊喫の課題だと認識されていました。



サービス開始から5年経過したタイミング（2017年末）で、さくら情報システムの仮想化ホスティングサービスのシステム更改を担当したのが兼松エレクトロニクス社です。兼松エレクトロニクスは、更改にあわせて共用ネットワーク部分の可視化ソリューションを提案し、確かな実績がある最適なソリューションとして Flowmon を推薦しました。

さくら情報システムで、Flowmon を様々な角度から他社製品と比較検討してみたところ、最終的に Flowmon が最適だという結論に至りました。

結果

ライセンスが最も重要な決定要因でした。Flowmon Collector のライセンス体系はフローデータを保存するディスク容量に紐づくため、監視対象インタフェースの数は予算に影響しません。新たに予算を確保して追加購入しなくても、インタフェースや VLANを必要に応じていつでも追加できます。

Flowmon の ADS (異常検出システム) は、ネットワーク内の異常をインテリジェントに検出するためのオプション機能です。従来の保護手段をバイパスする未知の脅威や明瞭になっていない脅威も検出できるため、Flowmon Collector の機能を補完し、重要な役割を果たしています。

さくら情報システムでは、通常の日常運用を行いながら、スムーズに Flowmon を導入することができました。ICT サービスグループで、ネットワーク構成や使用中の他のシステムに影響を与えることなく、仮想マシンの移動を進めることができた点が高く評価されています。

また、お客様のデータの監視が、想定していたより簡単に、直感的にわかりやすい形で行えることは、喜ばしい驚きでした。この使いやすさは、実際に利用している中での安心感につながります。

「性能や欲しい機能、コストメリットを考えたときに、Flowmonが導入のしやすさも含めて優れているという結論はかなり早期に出ていました。…今回のシステム更改に伴い Flowmon を導入したことで、以前よりトラブルの原因特定が容易になったことは間違いありません。」

犬竹雅博氏
ICTサービスグループ 第4グループチームリーダー

さくら情報システムについて

さくら情報システムは Daigas グループ（旧大阪ガスグループ）と SMBC グループに属する情報サービス業の企業です。1972年の設立以来、三井住友銀行ならびに SMBC グループ各社の基幹システム構築・運用業務に携わってきたノウハウ、技術、信頼を基に、システム構築・運用を行ってまいりました。会計・人事給与・金融・BPO・セキュリティ・システム運用の事業を中心に、幅広い業界のお客様の課題解決をトータルサポートしています。

詳細については、www.sakura-is.co.jp をご覧ください。



Flowmon の詳細については、以下のページをご参照ください。
www.flowmon.com/jp

プログレスについて

プログレス (Nasdaq: PRGS) は、テクノロジーが牽引する世界において専心的にビジネスを推進し、多くの企業がイノベーションのサイクルを加速し、躍進して業績を向上させていくプロセスを支援します。プログレスは信頼できるプロバイダーとして、インパクトが大きいアプリケーションを開発、展開、管理するための最高の製品を提供し、お客様は必要なアプリケーションとエクスペリエンスを開発し、適切な手法で展開し、すべてを安全かつ確実に管理することが可能になります。1,700のソフトウェア会社と350万の開発者を含め何十万もの企業が目標達成のために確信を持ってプログレス製品を利用しています。詳細については www.progress.com をご覧ください。また、[LinkedIn](#)、[YouTube](#)、[Twitter](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) へのフォローをお願いいたします。

プログレス・ソフトウェア・ジャパン株式会社
〒106-0047
東京都港区南麻布4-11-22 南麻布T&F ビル
www.flowmon.com/jp
sales_japan@progress.com